

東日本大震災津波の発災後、これまで皆様方から多くの励ましのお言葉やご支援を賜り、心から感謝申し上げます。本県では、復興を加速させるべく、県民一丸となって取り組んでいるところです。

これまでも評価いただいております本県の教育旅行のメニューである「歴史・文化学習」や「自然・農漁村体験学習」と並び、大きな柱となりつつある「震災学習」は、全国各地の学校の教育旅行メニューに取れ入れられています。訪れた子供たちは、命の尊さや防災意識の大切さを素直に学び、「『人の命は作ったものでは守れない、自分で守るんだ』という言葉が印象に残った」、「被災地に入り、当たり前前の日常の大切さを実感した」という感想を残すなど、それぞれ何かを学び、感じ取って故郷に帰っています。



将来を担う子供たちに、被災地を実際に見せ、そこで何が起き、そしてどう立ち上がろうとしているのか、人と人が共に生きる上で何が大事なのか、考える機会を与えることは大変意義があるものと考えます。津波で被災した沿岸各地では、津波の体験と教訓を語り継ぐ震災語り部ガイドのほか、被災地の方々との交流が可能な民泊など、本県だからこそ学ぶことができる、まさに、子供たちの「生きる力」を育む体験交流メニューを整えております。

また、震災のあった年の6月、「平泉の文化遺産」が世界遺産に登録されました。浄土思想の考え方に基づいてつくられた「平泉」は、素晴らしい寺院や庭園を残すとともに、あらゆる生命を尊び共に生きるという理念を私たちに伝えていきます。今回の登録は、こうした「平泉」の平和の理念、人と自然との共生といった思想的、歴史的な価値が人類普遍のものとして世界遺産に相応しいと認められたものであり、まさに教育的効果の高い素材であると自負しております。

震災からの復興の象徴とも言える世界遺産「平泉」と、被災地への訪問学習の組み合わせは、将来を担う子供たちが、命の尊厳、震災からの教訓等について学ぶ貴重な機会であり、本県だからこそ提供できる教育旅行メニューであると考えております。

このほかにも、本県には豊かな自然環境を生かした体験プログラムなど、様々な教育旅行メニューがございます。皆様の児童・生徒さん方の学びの場として是非岩手県を検討くださいますようお願い申し上げます。

岩手県知事 達 増 拓 也